

特別支援教育推進事業について

Q 特別支援教育支援員、相談員の配置状況はどのようになっているのか。

A 特別な支援を必要とする子どもへの支援員の配置や学校に対する巡回相談などの充実を図っている。今年度は、支援員10人増やし209人配置。相談員を6人配置する。

英語力向上プロジェクトについて

Q 地域人材（GET）の活用について、受け皿がなくて進んでいなかったのではないかと？

A 担任の先生や、ALTとの関係性が大事。有償（@1,500円）だが、仕事の量やお膳立てが必要。また、打ち合わせの時間の確保も必要となる。

異なる文化の人々と自信を持ってコミュニケーションを取ることができる生徒を養成し、地元への愛情を持ちながら国際的に活躍できる子どもを育成する。新しいモデル校を造り進めていく。

独自教材
「しずおかグローバルタイム」

幼児言語教室指導事業について

Q 子どもの言語について不安を持っている親が増えていると聞いているが、その対策と現状はどのようになっているのか。

A 診断待ちが100名ほど待機している。新たに、駿河区に幼児言語教室を設置し、市内に6教室となった。出来るだけ早期発見するために年少さん（3歳児）から検査することにした。

不登校対策事業について

Q 総合教育会議で、不登校対策が議論され、対策が打ち出されたとの事だがどのようなことか。

A 不登校児童の未然防止の取り組みで、不登校対応研修プログラムの開発と訪問教育相談員の配置を行う。今年度は相談員を中学校区に一人配置する。教員OBの中から選任。

不登校児童生徒の家庭を訪問して、子どもや保護者の孤独感を解消し、変化の兆しがあったときに、適応指導教室や学校など、その子のニーズにあった支援にマッチングしていく。不登校なり始めの子や長い子など対応は様々。家庭の事情も加味し訪問を計画していく。



【委員会所感】

各区のキャラクターをもう少し上手く使うことによって、くま蒙的に成り得るのではないかと思います。検討していきたい。また、LGBTについて、皆で語る土壌ができてきたことは望ましい方向だと思うが、男女共同参画における女性へのポジティブアクションもまだまだ必要なのではないか。特に管理職登用や政策決定の場への進出などは、検討が必要だと感じます。

環境・地球温暖化防止推進策は、待ったなしです。このところの異常気象などを考えると、一人ひとりの意識改革が非常に大事です。もうあなたは、マイバックで買い物していますか？雑誌の分別されていますか？身近な所から始めていけば変わっていくと思います。

『まちづくりは人づくり』教育現場の環境整備。生徒の学びの環境充実が大切です。エアコン設置やトイレ整備、図書館の充実等。又、教師の働き方や働く環境整備・教頭先生のサポートや英語教育充実、担任負担軽減のALT・GETの配置を十分に活かすことが必要です。日常生活に密着する政策が多い、市民環境教育委員会。まだ足りないところは何かしっかりとチェックしていきたいと思えます。

さて、間もなく新たな気持ちでスタートする6月議会が始まります。4月の人事異動で、議会の答弁者になられた職員の皆さんや、何よりも、2元代表制の首長選挙で3期目になる田辺市長は、より一層、心新たにされている事と思います。私は、一翼を担う議員として、しっかりとその責務を果たしたいと思っています。

今年度は、観光文化経済委員会の委員長を務めます。



6月議会日程 (6/17～7/9)



6月17日 本会議（議案上程）
6月25日～27日 本会議（総括質問）
7月1日・2日 委員会
7月9日 本会議（表決）

佐藤せい子（志政会所属）

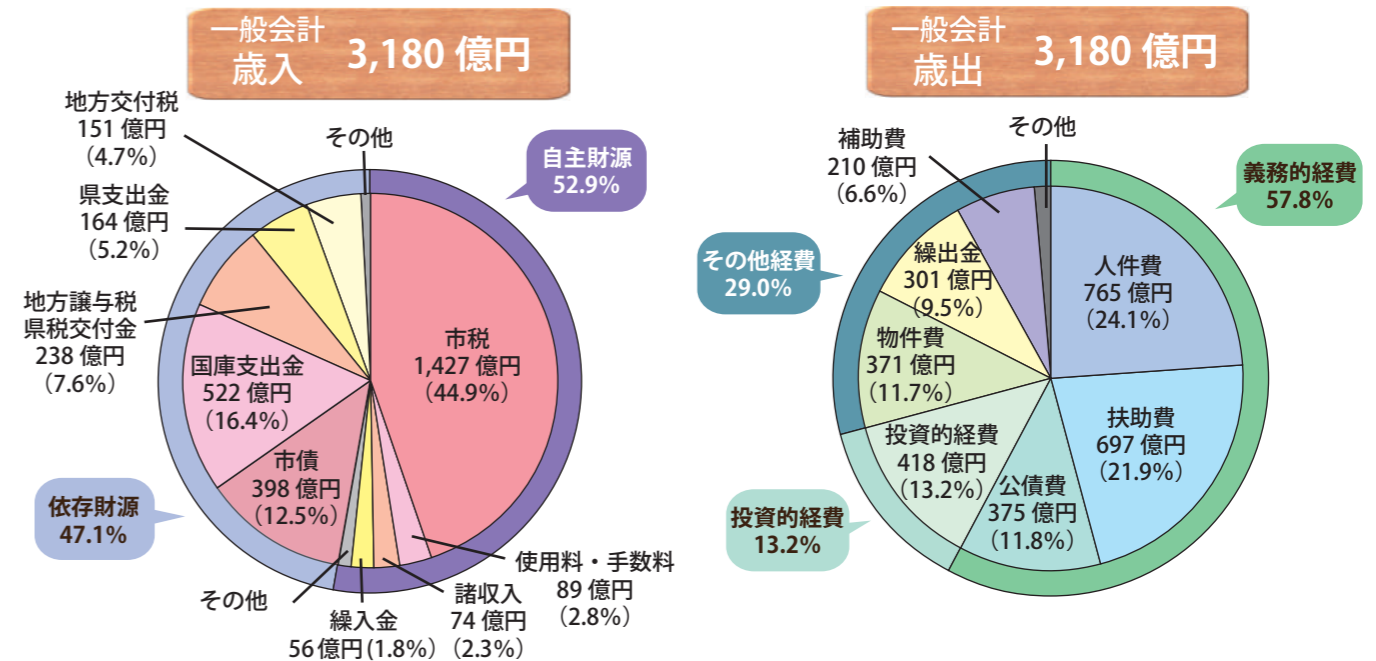
議会だより

令和元年5月発行
発行／静岡市議会志政会
編集／志政会 広報部
〒422-8004
静岡市駿河区国吉田 4-25-19
TEL：054-267-2000
URL：satoseiko.com

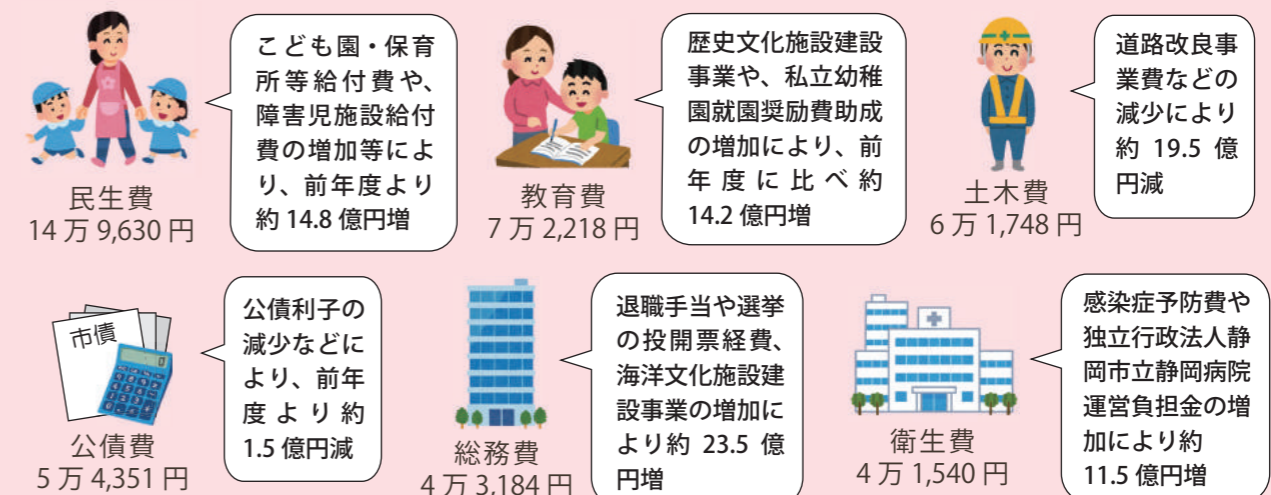


平成31年度当初予算一般会計 3,180億円（前年度比+1.9%）

平成31年度当初予算の一般会計は3,180億円で、前年度比58億円(1.9%)増と過去最大規模となりました。歳入の中心となる市税は、3%増の1,427億円で、企業の業績好調により市民税が5%近く伸びると見込んでいます。また主な歳出は、人件費増や幼児教育の無償化で義務的経費が膨らみ、0.9%増の1,839億円。投資的経費は、歴史文化施設や清水区の海洋文化施設など大型ハード事業費が計上された一方、新設道路の減少で道路改良事業が減少し、全体では2億円増にとどまっています。借金にあたる市債は398億円を発行。市債残高は4,869億円となり、市民1人当たり69万3,000円の借金がある計算となります。



市民1人当たりの予算 458,091円はどのように使われます



*一般会計のそれぞれの額を平成31年2月の推計人口で割りました。

その他 35,419円

歴史文化の拠点づくり 19. 3億円

■歴史文化施設の建設工事推進

歴史文化のまちづくりの拠点となる歴史文化施設を旧青葉小跡地へ建設する。



外観イメージ

■今川義元公生誕五百年祭の開催

■駿府城跡天守台発掘調査・見える化

家康の天守台に加え、昨年新たに発見された豊臣の遺構を含めた野外展示に向け、基本計画策定に着手。

■駿府城公園中堀における葵船の運行



2020年春の葵船本格運行実施を旨とし、船頭養成や乗船場等の整備を実施する。

海洋文化の拠点づくり 20. 2億円

■海洋文化施設建設事業

日の出地区に建設予定の海洋文化施設の建設予定地として、東洋製缶清水工場跡地約1万㎡の土地を購入する。



■新清水庁舎の建設

建設・防災・まちづくり等の各分野の有識者で組織される審議会を設置し、整備事業者を選定する。

■駿河湾フェリーの運航支援

市内の小学生にフェリー無料乗船券を配布。

【期間】6月～9月 【対象】市内小学生先着4,000人

■清水港開港120周年記念事業(海フェスタしずおか)

【期間】7月13日～8月4日

【場所】日の出会場・江尻会場

教育文化の拠点づくり 1. 1億円

■草薙・東静岡副都心のランドデザイン策定

草薙・東静岡副都心における教育機関等の集積を最大限に活かしたまちづくりを進めていくため、副都心エリアの都市デザイン策定に着手する。

■「静岡シズンカレッジこ・こ・に」

- ・総合課程 地域リーダーを養成する講座 2講座
- ・環境、観光、歴史、福祉等の分野別講座 17講座
- ・将来地域を担う高校生を対象とした講座 2講座

■JR草薙駅北口国道1号線横断施設の具体化



国道1号線の横断対策や周辺道路の安全対策を行う。

「健康長寿のまち」 11. 0億円

■認知症予防に向けての体制整備

認知症予防の拠点機能を中心とした産学官民が連携するしくみを構築する。

- ・市民に対する調査の実施
- ・アドバイザーによる助言
- ・認知症予防事業の企画会議、ワーキングの実施



■高齢者就労促進のためのワンストップ窓口開設



市内の福祉団体や経済団体と連携し、高齢者就労に関わる情報を一元的に管理し、ワンストップ窓口を静岡庁舎2階に設置する。窓口には市やシルバー人材センターの職員が常駐し、研修会、説明会など幅広い情報を提供する。

「まちは劇場」 4. 8億円

■「まちは劇場」のブランディングと国際化推進

… 4,446万円

- ①ブランディング事業
 - ・WEB、SNSを活用したプロモーションの展開
 - ・フェスにおける統一タグラインによる街中への展開
- ②国際文化交流事業
 - ・釜山市とのフェスティバル交流
 - ・国際文化交流を旨としたシンポジウムの開催



統一タグライン「ON STAGE SHIZUOKA」

■夜の舞台演出事業 … 5,140万円

- ・(仮称)「駿府灯り回廊」事業

【概要】駿府城公園内ライトアップ&パフォーマンス

【時期】2019年8月

- ・日本平ナイトツーリズム推進事業

【概要】夜景サミット2019の開催

日本平夢テラス(回廊)光&音の演出

【時期】2019年10月



駿府灯りの回廊イメージ

市民環境教育委員会

市民活動促進事業について

Q 市民討議会や市民活動促進協議会ではどのような事を行っているのか。

A 静岡市の青年会議所などが主になり、市民の声を聴く機会・ボイスオブ静岡(ワークショップ形式)を開催し、市民の声を、パブコメや審議会等とは別途収集し、政策に反映している。各部署の課題などを収集しているがなかなか上がってこないこともある。

男女共同参画推進事業について

Q 「LGBTフレンドリー推進事業」とはどのような事業なのか。

A 性の多様性について理解を促進するため、職員研修や市民への啓発を行う。また、当事者の居場所づくりのため、月に1回程度交流会を開催していく。第3次男女共同参画行動計画に4つの重点目標をたて、理解促進に努めていく。

地球温暖化対策推進事業について

Q 地球温暖化対策の普及啓発のため、どのような活動を行っているのか。

A エスパルスの試合の際に、入場者にランダムにアンケートを行い、温暖化についてどのような関わりをしているかなどの調査を行い、クールチョイスを提案している。又、各種イベント等で削減宣言などを行っている。2030年までに26%削減、2050年までに80%削減など目標値も示している。



清水エスパルスと連携した「COOL CHOICE」運動

教頭サポート事業について

Q 事業の内容はどのようなものか。また、どの程度の規模で配置されるのか。

A 教頭の事務の繁忙を解消し、管理や指導に時間配分ができるようサポータースタッフを配置する。市内の19学級以上の小中学校9校に1名ずつ配置する。週10時間、公募で選任する。その地域に詳しい方が望ましい。教員免許は不要。



「静岡シズンカレッジこ・こ・に」事業

Q 「高校生まちづくりスクール」とはどのような講座なのか。

A 大学に進学し静岡を出る前に、郷土愛を高め、将来地域を担う中核となる人材を作る講座で、今年度はプレ課程として開催する。卒業後の若者の居場所づくりにもつなげていく。夏休み等に短期で開催予定。



高校生まちづくりスクールの様子

区役所キャラクターの活用について

Q 各区のキャラクターは営利目的でも使えるのか。

A 清水区のシズラは著作権をネオパーサ清水が所持。民間と共同で、YシャツやTシャツ、ボールペン等を作っている。商品開発など営利目的で誰でも使える。葵区のおおいくんは、プロのしりあがりことぶき氏の作成なので、公営のためのみ使える。駿河区のトロベーは、今後せんべいづくりの刻印など商品開発していく。



放課後子ども教室推進事業について

Q 放課後子ども教室の現状はどのようなになっているのか。

A 全児童を対象とした放課後対策として、放課後子ども教室を市内すべての小学校区に順次整備している。本年度は32校増設し、76校で開設する。アドバイザー及び指導員には、謝金が支払われている。



放課後子ども教室とは…親の就労に関係なく、開設した学校の1年生から6年生までみんなが参加できる社会教育事業。学校の施設を利用して、各種体験活動や地域の人・異学年の児童との交流など様々な活動を行います。